



www.tovo2011.com



特集

継続するために

トヴォ活動三周年記念特別号



継続するために tovo paper vol.05 tovo 活動3周年記念特別号



【tovo/トヴォ™】は、2011年3月11日の東日本大震災によって、親を失った子どもたちを、青森から支援するプロジェクトです。チャリティーグッズを制作・販売し、その経費を除いた全ての収益を、長期的な子どもたちの心のケアの為、あしなが育英会へ継続的に寄付し、青森から「あなたがたのそばにいつもいますよ」と伝え続けます。

CONTENTS

継続するために その①～はじめに 小山田和正(tovo 代表)

継続するために その②～先生に聞いてみよう

「もっと高みへ」
～野呂 拓生(青森公立大学地域みらい学科)

継続するために その③～新聞記者に聞いてみよう

「津軽(安全地域)に生きる人々にとってのtovo」
～福田 藍至(陸奥新報社・編集局報道部)

継続するために その④～季節限定の缶バッジ

継続するために その⑤～先輩方に聞いてみよう

継続するために その⑥～フリーペーパーtovo plus

継続するために その⑦～ボランティア・協賛のみんなに聞いてみよう

継続するために その②～先生に聞いてみよう

「3周年おめでとうございます!素晴らしい!」と、褒め言葉だけを書きたかったのです。しかし、「ぜひ厳しい言葉を!」と依頼されました。だから、心を鬼にして、書きます。

まだまだこれからだ。もっと、もっと知ってもらわなければ!

tovoは、音楽ファンのほか、様々な場所で偶然出会ってくれた多くの人々に支えられてここまで来ました。情報誌の影響か、30～40歳代女性の支援も多いようです。200万円を超える寄付が実現したのは、初期3年の活動が成功したことを示しています。

しかし、必ずしもtovoが世間に認知されたとは言えない、と思っています。実は、私の学生は一人もtovoを知らず、リンゴマークすら記憶がなかったのです。知人も、です。この状況は、私の周囲だけでしょうか?そうかもしれませんが、あえて厳しくとらえましょう。なぜなら、tovoにとっての今後は、楽ではない状況になると予想されるからです。

これまで支えてくれた多くの人々は、「デザイン」+「震災支援・遺児支援」という2側面にひかれてきたと推測されます。しかし、あれから4年となり、世間は震災を過去にし始めています。すると、人々の心から支援の意識が欠落していきます。子どもたちの存在も、です。残念ですが、今後は、支援から入るファン予備軍がフェードアウトしていく可能性が高いのです。いわゆる、風化が立ちはだかってくるのです。

われらがリーダー小山田さんは、「止まる＝風化」だから「動き続けなければ」と言います。だからデザインを頻繁に変え、「忘れない」をテーマにフライヤーを出し、イベントに出店します。素晴らしい意識と努力です。

しかし、風化は強烈な力を持ちます。忘却されていく支援意識を取り戻すのは、とても難しいのです。仙台で被災した私は、風化を強く感じています。だから、心を鬼にして言うのです。「もっとアグレッシブに、広くブランドを知ってもらおう活動」をすべきだと。

もちろん、ボランティアな活動ですから限界はあります。しかし、幸いにしてtovoにはプロなデザインがあり、支える大勢の仲間(我々)がいます。加えて、青森からAlways with youを実現するという強い信念があります。だから、何をやってもブレはないはずです。

このリンゴマークは最高に素敵で、無敵です。私のPCのリンゴマークと、いい勝負です。いえ、もっとすごくなれます。日本を代表するチャリティーブランドになれると信じます。

大丈夫、Always with youです。tovoブランドを、もっと高みに。突き進んでいきましょう。

継続するために その① はじめに

2011年6月、「tovo/トヴォ」という青森から震災遺児を支援するプロジェクトを立ち上げてから、青森県内はもちろん、全国の皆様より暖かいご支援を賜り、おかげさまで活動3年を迎えました。

立ち上げ時、活動期間を10年間(3,650日)と設定しました。この原稿を書いている日は、活動開始から1,090日目。目標まで残り2,560日です。

この1,090日間、僕はたくさんの方と出会い、ご支援とご協力を頂いてまいりました。1,090日分の想い出があり、出会った皆様1人1人に感謝の気持ちがいっぱいです。しかし、その1つ1つを振り返り、懐かしみ、感謝を示すのは、ずっと後にとっておきたいと思っています。

活動期間を10年間(3,650日)と設定した日、それは残りの3,649日をどのようにして続けていこうかという重圧の始まりの日でした。以降、この原稿を書いている日でさえ、残りの2,560日間をどのようにして続けていったら良いのだろうと悩み、考え続けているのです。

震災から3年が経過し、青森に住む僕たちの生活はすっかり元通りになりました。しかし、あの日、突然にお父さんやお母さんを亡くしてしまった子どもたちは、震災以前の生活に戻ることはできません。また、あの日、突然に子どもたちを残して、この世から去らなければならなかったお父さんやお母さんは、再び子どもたちを抱きしめることはできません。青森に住む僕たちの生活がどうであろうとも、子どもたちは、これから先もずっと、

お父さんやお母さんを想い続けるでしょうし、お父さんやお母さんは、子どもたちの幸せを願い祈り続けるでしょう。もちろん、そんなことは僕には関係のないことだ、という生き方もあるけれども、あの時、なぜか僕はそれを選びませんでした。そして、何の取り柄もなく、何の肩書きもなく、何処の馬の骨かもわからぬ僕は、このプロジェクトを勝手に立ち上げて、勝手に目標を設定して、勝手に走り始めていました。「何故このプロジェクトを始めようと思ったのですか?」よく聞かれる質問です。その都度、僕は世間体の良い、誰もが理解のできるような理由を見つけて答えるのですが、なんとなく、それはどれも後付けの理由のような気がしています。きっと、僕は「走りたかったから、走った」んじゃないか、そんな気がしています。

立ち上げから3年、きっと、ここまでは「走りたかったから、走った」で良かったんだろうと思います。でも、ここからは厳しい。本当に厳しい。たぶん、それはtovoに縁のある方、手伝ってくれている方、皆がそう感じているはずです。

そこで、このtovo paperのtovo活動3年記念号では、皆に「継続するため」のアドバイスを頂戴しようと考えました。tovoはたったの3歳ですが、お話を伺った方々は全て一線で活躍し続けている方々ばかりです。あらためて諸先輩方のお話を伺い、ここをtovoの新しいスタート地点にしようと考えました。おかげさまで、tovoの新しい一歩となる記念号ができたと思います。ご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。

tovo 代表 小山田 和正

もっと高みへ

野呂 拓生
青森公立大学地域みらい学科

継続するために その③～新聞記者に聞いてみよう

津軽（安全地域）に生きる人々にとってのtovo

津波がさらったでもなく、放射線に当てられたでもない、津軽に住むわたしには、住む場所や家族、古里を奪われた人を真に思い計ることはできない。それに似た経験のない、同じ痛みを覚えていないわたしには、彼らに共感することは叶わない。被災して古里を追われた方に取材するたび、はがゆさを感じている。

人のためボランティアに勤しむことのできる強い人は多くはないし、それをずっと続けようと思ってる人は、もう一握り。なにかしようと思う。なにかしたい。でも、結局は他人事。当事者でないから深くへ踏み込もうとはしない。自分も含めてそんな人が多くだろう。

うれしいことや楽しいこと、そんな自分が満たされることに、私たちは惜しまずお金と時間を使う。ファッション、レジャー、ギャンブル…。例えばそれが、トヴォのバッジやイベントだったりしてみよう。かわいいと何気なく買ったもの、楽しいからとふと参加したものが知らぬ間に、傷を背負う人に優しく寄り添う手へと変換される。その意味でトヴォとはジェネレーターである。

私たちは、被災地の人々が未だに当たり前の生活を回復できていないことを知っている。しかし私たちは、あの日がなかったかのような生活に慣れ過ぎて、たまにふと、そのことを忘れてしまう。そんな私たちが「絆」だなんて言葉を使うのはおこがましい。ただどうか、トヴォはそんな私たちと彼らをつなぐ「糸」であってほしい。

福田 藍至
陸奥新報社・編集局報道部

継続するために その④ 季節限定の缶バッジ

tovoでは通年で販売しているスタンダード版10色に加え、季節ごとに缶バッジのデザインが変わります。他にイベント限定の缶バッジ等もありますので、3年間で販売した缶バッジは数知れず。コレクションしているファンもいます。今日思いついたデザインは、明日缶バッジにする。そんなスピード感を保ちながら10年間を走り抜けた。全ては継続するために。



継続するために その⑤～先輩方に聞いてみよう

ゆかり

つなげる・つたえるプロジェクト/幡ヶ谷再生大学

大切なことは自分のすぐそばにあって、でもなかなか見えないもの。tovoは、ゆっくり確実に地域の人たちをつないで、地元にしかりとしたコミュニティを作っています。その大切さを自覚している人は今はまだ少ないと思うけど、いつか多くの人がそのことに気付くと思います。

【つなげる・つたえるプロジェクト】

【幡ヶ谷再生大学】 <http://hatagaya-saisei-univ.jp/>

山本 拓

ZOOMOTH/幡ヶ谷再生大学

気付いたら3年。あっという間の3年。毎月送られてくるtovo plus、季節やイベントごとにリリースされるtovoの可愛いバッジのおかげで東日本大震災を忘れずにやってこれたと思います。これからも一緒に復興のサポートをしていけたらと思います。

【ZOOMOTH 塩ビをクリエイトするズーモス】

<http://www.zoomoth.com/>

【幡ヶ谷再生大学】 <http://hatagaya-saisei-univ.jp/>

今井 敏博

EROSTIKA (東京都原宿店・愛知県名古屋店)

出会った頃から小山田さんの知識やセンスがずっと好きなんです。そんな小山田さんが創作したtovoのキャラクターももちろん大好きです。10年もチャリティーを続けようっていう気概も大好きです。迷惑かもしれませんが引き続き10年間勝手に手伝わせていただきたいと思ってます。

【EROSTIKA - For Serious Rockin' Jelly Bean Collectors Only!】

ロッキンジェリービーン好きのためのオフィシャルショップ、エロスティカ。原宿店・名古屋店の2店舗展開。オンラインショップも有ります。 ウェブサイト:<http://erostika.net>

平岡 和也

株式会社JR東日本青森商業開発 A-Factory キャプテン

震災から3年3ヶ月が経過しましたが、少しでもtovoさまの活動を参加できているのかと思うと大変うれしく思います。最近では風化という言葉が風化してしまったのではと感じます。被災地に勇気と希望を伝えることを終わらせたくなく、これからも、tovoさまを通じて協力してまいります。

【A-FACTORY】青森駅東口すぐのウォーターフロントエリアにある青森県産りんごを使用したシードルを醸造する工房と地元のさまざまな食材が楽しめるマルシェの複合型施設です。 住所:青森県青森市柳川1-2-3
ウェブサイト:<http://www.jre-abc.com/>

鈴木(ラジオマン)耕治

株式会社エフエム青森

tovo活動3周年おめでとうございます。「継続は力なり」と言葉にすることは簡単ですが、実際、活動が続けることは、ご苦労されることも多いと思います。「力まず、できることから粛々と」これが、今後のtovoの活動に贈りたい言葉です。でも、きっと「粛々」なんて言葉は似合わないんだろうな一、tovoには。こっちの方がシックリきますね。tovoにエールを贈ります！
Keep on Rockin'! Keep On Rollin'!

【FM青森】 ラジmott! (月)/16:55-18:55

ウェブサイト:<http://www.afb.co.jp/>

福田 豊

日本航空株式会社 青森支店 支店長

継続することを意識的に行うのではなく、自然に取り組んでいます。スーツの胸に着用しているバッチに気づいてくれた方、興味を持って質問される方に「tovoの名刺(裏に趣旨が書かれています)」をお渡ししながら丁寧に説明します。無理せず自然発生的に行うことで相手も私も楽しく取り組みます。

「青森から東京、大阪、札幌へ」、「三沢から東京、大阪へ」・・・最も速く、快適に結ぶ日本航空。早めの予約でオトクです!早く買うほどトクになる、「JAL先得(サキトク)」運賃発売中。ご予約・ご購入から搭乗手続きまでできる便利なサイト、JALホームページをご覧ください。 www.jal.co.jp

田代 和也

有限会社ホームワークス 代表取締役 (弘前市)

2011年 春の遅い3月。毎日仕事に向かう為、普段使わない自転車を漕いでいた。燃料不足で並ばないと車に給油できない。雪の残るグシャグシャの道路は、立ち漕ぎをしないと前に進まない。目を覆うような信じられない報道が続く。いろいろな不安がよぎる居心地の悪い毎日。あんな灰色の春はまっぴらだ。あの時の苦しい日々を忘れないように tovo を支える。

【有限会社ホームワークス HOME WORKS INC】

住所:弘前市土土町77-10 電話: 0172-33-0281

ウェブサイト:<http://www.home-works.co.jp/>

営業時間:10:00~20:00 店休日:元日、8/13、12/31

柴田 康生

幸せ写真スタジオクローバー・フォトシバタ 代表取締役

直接被害がなかった地域では既に風化しつつありますが、遺児たちはまだまだ支援を必要としていると思います。子どもは国家みんなのからです。日本の未来のために少しずつでも協力していきたいと思います。会員制度をつくって、毎月1口500円+送料を口座振替で引き落として、新デザインのバッジを郵送するというのはいかがでしょうか？

【幸せ写真スタジオクローバー】大きな窓から自然光が差し込むとっても明るい写真スタジオ。ウエディング、成人式、七五三、ベビーなど各種レンタル衣裳をとりそろえています。カメラマンとスタッフもみんな明るくてフレンドリー。おもいでづくりのお手伝いを致します。
住所:青森市浜田ドリームタウンALI 2階
電話:017-718-2968

三浦 照美

GOLD RUSH (五所川原市)

3年という年月は時に人の記憶も薄れ行くものにするが、継続する事の大変さを知りつつ10年先まで念頭に入れの活動と聞き大変感動しました。未だに復興も終わっておらず、まだまだ助けが必要とされてると思います。私を含め、皆、何も出来ずにいたりする中、こうやって続いているtovoの活動には感謝と応援の気持ちでいっぱいです。

【GOLD RUSH】

住所:五所川原市旭町1 2 鶴初ビル 2F

電話:0173-33-1546 営業時間:19時00分~3時30分

駒井 秀介

八戸酒造株式会社 専務取締役

tovo活動を始められ3年を迎えられたことに心から敬意を表します。私は蛭沢さんを通じtovo活動の存在を知り、また当蔵で行った『CLUB 8 0 0 0』では大変お世話になりました。今回のイベントでtovo活動を初めて知られた方も多数いらっしゃいました。今後も更に多くの皆さまへのtovo活動の周知、そしてこの素晴らしい輪を拡げていきましょう!!私も微力ではございますが応援させていただきます!

日本酒『陸奥八仙』『陸奥男山』醸造元。創業1775年(安永4年)。八戸市漁港近くに蔵を構え、青森県の地酒として県産の米と酵母にこだわり、時代が求める環境と健康に配慮した安全で美味しい酒造りに挑戦しています。酒米作りから酒造りまで体験できる会員制『がんじゃ自然酒倶楽部』を運営し、全国から日本酒ファンが集っています。蔵見学も随時受付中。

土岐 志麻

とき歯科 (青森市)

震災から3年。被災しなかった私たちは何かをしなければならないと思いながらも、どうしたらいいのかわからないままです。その時知った「私たちは忘れない」というこの活動は、双方に重要なことだとおもいます。より多くの方がこの活動に参加されるように私も各地で訴えていきたいとおもいます。

【とき歯科】一般・小児・矯正・口腔外科

院長:土岐貴 副院長:土岐志麻(小児歯科専門医指導医)

診療時間:月~金 9時~17時まで(土日祝日休診) 当院には小児歯科認定衛生士が5名在籍。「食べる・飲む・話す」お口に関わるすべての問題に対応します。

木田 京子

木田理容所 内町店 店長 (黒石市)

私がtovoに参加させていただいたのは、たまたま覗いた幡ヶ谷再生大学のホームページでした。tovoのロゴにある「ALWAYS WITH YOU あおもりから いつもそばに」の言葉に私も力になりたい!!と思いました。活動も残り7年、被災地の子供達の笑顔が一つでも多く増えますように。

【木田理容所】 住所:黒石市追子野木3丁目3
電話:0172-53-1872

金川 真也

タイムスライス（五所川原市）

tovo3周年本当にお疲れ様です。「100万円を10年で集めるのが目標!」と言ってたのを、今でもはっきり覚えています。そんなtovoが¥500のバッジでこれだけの寄付金を集められるなんて、人のパワー、繋がり、気持ち…すごく感じます。これからも息の長いtovoでいて下さい。

【タイムスライス】五所川原市「エルムの街」近くのセレクトショップです。当店で、自分の体型にコンプレックスのある人や、もちろんそうでない人まで、いろいろなお客様の相談にのりながら、服装ひとつでその人の人生を明るくしていくお手伝いをしていきたいと思っています。お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。
住所:五所川原市中央1丁目66
ウェブサイト:http://time-slice.net/

和田 耕一

creative studio D-light（青森市）

震災後、あの状況で自分に何が出来たか。やり方は違って志は一緒。同士だよ。震災の記憶を風化しないため、津波遺児のため、不転移の決意で挑んでいこう。Rock against the fuckin' disaster.we will revive with hope.

クリエイティブスタジオ D-light ウェブ・グラフィック等広告全般の企画・デザイン・制作スタジオ。ズルイヤツが大嫌いなROCKaHOLIC。好物はお酒です。NO NUKES!!
住所:青森県青森市橋本3-4-15-2F
ウェブサイト:http://d-light.jp/

竹森 幹

bambooforest（弘前市）

tovo活動3周年に敬意を込めて拍手をお送り致します! 今後もフリーペーパーと共に、tovoが発信する風化させない為の気付きを与えてくれる空間・催しなどを勝手に期待しております!

【bambooforest】子供から大人まで共に楽しむ事をコンセプトに、環境と人体に優しい木製おもちゃや幾何学おもちゃ・アウトドア用品・職人技が光る雑貨・アパレル・書籍&CD&DVDなどなど、カラフルで少し変わったアイテムを揃えています。お気軽に遊びに来て下さいね! 住所:青森県弘前市代官町20-1
TEL&FAX:0172-35-4520
WEB:http://www.bambooforest.jp
facebook:http://www.facebook.com/bambooforest.jp

坂本 美弦

アジアン・エスニック居酒屋 弦や 店主（弘前市）

透明性、ほどよい力かげん、センスと個性、そして一本ブレない芯・・・、tovoには継続に必要なものがしっかり備わっていると思います。スピードが遅い時もあるかと思いますが、のろのろでも止まらず前へ。地道な継続が今後ますます人の心を動かしていくと思います。

【弦や(げんや)】 営業時間:18:00~24:00
住所:弘前市銅屋町34番地 TEL:0172-34-9951
ウェブサイト:www.genyahirosaki.com
自家栽培の在来唐辛子「清水森ナンバ」を使ってペーストから手作りしているグリーンカレーの店。地元食材をタイ料理に多用しています。

櫻庭 寿樹

@Sacklaver（東京都）

出合いのきっかけは好きなバンドの支援活動の繋がりで、故郷青森にこんな方がいるんだと興味を持ったのが始まりでしたが、一番の魅力は商品のかわいさ。たとえチャリティーでも商品が良くないとなかなか買いたいたもならないわけで。残り7年もこれまで通り頑張っしてほしいと思います。応援しています!

成田 知峰

LITA hair（五所川原市）

これからも LITA hair はtovoを応援いたします。

【LITA hair】 住所／青森県五所川原市鎌谷町94-2
TEL／0173-33-2144 営業時間／9:00～19:00
定休日／毎週月曜日・第3日曜日・第1火曜日

森 俊樹

岐阜県立東濃実業高等学校

継続していくには本当にたくさんのご苦労があると思います。教育に携わる中で「継続する」ことの難しさを痛感する毎日です。「始める」ことよりも「継続する」ことの方が何倍もパワーが必要だと思います。だからこそ「継続は力なり」というように大きな力につながるのだと思います。これからも応援しています!

森 かつら

真頭玩具リアルヘッド（東京都）

もう数年、早いものです。震災直後に各方面からいろいろ聞こえた熱のある言葉も、最近は耳にする事が少なく感じます。決して真面目の固まりではない小山田さん。だからこそ良い!痛みを知る人間の力がまだまだ必要な状況下。シンプルが一番難しくなってしまった世の中だけど、明日の為の今を生き、語り、つくって行きたいですね。もちろんお互いに!応援してますよ!

【真頭玩具】
住所:東京都葛飾区青戸6丁目4
ウェブサイト:http://realxhead.jp/
Twitter:@4921RHND

田渕 泰佐

GANIX.（大阪市）

ぼくからtovoさんへのメッセージは『マイペース』。自分の感じた方向へ、信じる方法で、全力疾走したり、空気や匂いを感じながら歩いたり、時に休憩したり、マイペースで出来るだけ。なかなか難しいことだと思いますが、これからもマイペースで活動を続けていってもらえたらと思います!

田村 邦彦

肴ダイニング 心 店長（青森市）

こちらのプロジェクトを知った時、「なんて素晴らしい活動なんだ!」と思い、こちらから缶バッジを置かせてくださいとお願い致しました。ありがとうございます。一言で三年と言っても、小山田さんもお忙しい中このような活動をされて、大変な時などもあったかと思います。でもこの三年間で200万円を超える金額をご寄付されたというのは本当に本当に素晴らしいと心から思っております。これからも微力ではありますが、この活動に参加していきたいと思っております。小山田さん、活動三周年本当におめでとうございませう。

【肴ダイニング心】
住所:青森市本町5-7-21 本町VILLA 1F
電話:017-723-2111
定休日:火曜日

榎本 玲奈

音楽家・ピアニスト（東京都）

私がtovoと出逢ったのは2014.3.11に公演をするにあたり、当日販売するチャリティーグッズを探していた時でした。グッズ販売という形は、協力して下さる人から人へ、しっかりと想いを繋げてくれるように感じています。これからも自分自身の音楽活動を通じ、広く永く“繋げる”お手伝いが出来れば幸いです。

兵庫生まれ。小学生の時に阪神大震災を経験する。音楽教室を営む家庭に育ち、高校から音楽科に進み、卒業後は沖縄の芸術大学へ。幼少の頃より環境問題等に関心を寄せていたが、4年間の沖縄生活で世界に蔓延する社会問題を肌で感じ、現在は上京し音楽活動をしながら“自分にできること”を模索する日々。 http://raynapiano.jimdo.com

吉田 ゆき

oppen plaza sora／oppen plaza sena（青森市）

毎月デザインを考えるのは本当に大変だと思います。公募してみるのと楽しいのではないのでしょうか。月替わりで募集対象を限定して。今までもこれからも止まる流れもあれば、新しい流れもあると思います。協力者・設置店・おでかけへのご縁と繋がるよう【より多くの方に知ってもらおう】みんなでtovo。

【oppen plaza sora】『美容院感覚で気軽に通えるサロン』としてオープンして10年。お陰様で幅広い年齢層・様々な職業の女性に通って頂いております。お肌の汚れやむくみはもちろん、疲れや肩凝りも取れるので忙しい方こそお勧めです。ブライダルやネイル、ボディケアも好評です。どうぞお気軽にご予約下さい。また、楽しく一生できる美容のお仕事を一から教えています。(現在県内6店舗・県外1店舗)ご興味ある方はお問い合わせ下さい。
住所:青森市金沢1丁目5-2 電話:017-723-2540

星崎 宏明

PopSoda（大阪市）

tovo3周年ということで、ひとまずお疲れ様です!立ち止まり、思い、そしてまた前への繰り返し。10年、20年・・・そして次の世代へと続くであろうtovoに、微力ながら継続して協力できればと思っております。

【PopSoda】
住所:〒550-0027 大阪市西区九条2-26-13
ウェブサイト:http://popsoda.jp/
アメリカ直輸入のキャラクターグッズを扱うトイショップです。

高橋 武敏

男のテディベア作家・津軽の電気 代表取締役（弘前市）



tovoさんの活動、もう3周年なんですね。はじめて缶バッジを見つけ、この活動に賛同をし、購入した時の事を今でも思い出します。東京出張の時、同じ飛行機にtovoさんの缶バッジをつけた人がいて、嬉しかったこともありました。私は今でも、缶バッジつけて、東京に行ってますが、缶バッジに興味持ってくれる方が、たくさんいますよ。ここが継続していることだと思います。興味がないと、素通りですね。これからもマスコミ等を利用し、活動をアピールし、5年10年と継続していきましょう。私も微力かもしれませんが、お手伝いいたします。

【男のテディベア作家 T'sBEAR】出産祝・誕生日プレゼント・結婚式ウェルカムベアなどオーダー承ります。

【津軽の電気】電気設備工事一式・オリジナル津軽塗シリーズ（スイッチ・コンセントプレート、津軽塗照明器具、商品企画販売）電話：0172-98-2140
住所：弘前市榎ノ木用田232-1

木立 随仁

日蓮宗 經王山 長延寺 住職（板柳町）

東日本大震災遺児支援プロジェクト『 tovo 』3周年を迎えたこと、ご苦労さまです。震災から3年、あっという間に時が経ちました。今でも当時の事が鮮明に思い浮かびます。しかし、関連死を含め2万人を超える犠牲者を出した東日本大震災、被災直後はメディアで大きく取り上げられてきましたが、時間の経過とともに全国的な関心は薄れてきて、残念ながら『 風化 』の問題も出てきているようです。ある記事によりますと、【43人が犠牲になった防災対策庁舎の前でポーズ写真を撮る人が増えている。町の女性職員が自らを犠牲にして最後まで防災無線で避難を呼びかけた場所。地元ホテルが運行する「語り部バス」のガイドの男性は「風化とはこういうことかと思う。Vサインをする人もいます」と話していました】この悲惨な震災に会われた方々に対する支援と、風化させないためのこのプロジェクト、これからも応援し協力させていただきます。これからも頑張ってください。

【日蓮宗 經王山 長延寺】
住所：青森県北津軽郡板柳町板柳字土井230
電話：0172-73-2715

下山 貴容子

NPO法人あーど／むすぶカフェえいぶりる（五所川原市）



この度、ご活動3周年ということで小山田さんをはじめ関係者の皆様のご尽力に感服しております。これからまた10周年への目標に向かっていくとの話を聞き、志の高さに再び心を動かされたところです。私たちはカフェの一角にtovoさんのスペースをつくり“いつもそばに”という気持ちでこれからも応援しています。

【むすぶカフェえいぶりる】
～自家焙煎珈琲とワッフルのお店～5種類の豆を常時用意しています。おかわり1杯無料。ワッフルはバターとじやりっとしたパールシュガーがおいしさの特徴です。りんご入りが一番の人气で、手土産にも好評いただいております。
TEL:0173-52-5867 住所：五所川原市金木町朝日山85-4

中山 佳

パークイン五所川原エルムシティ 取締役総支配人



トヴォらしくマイペースなのも良いけれど、例えば一年間のテーマを決めるとか…。または年に一度の大きな企画があっても良いのかな？大家族の「トヴォ」も見てみたい（笑）

【パークイン五所川原エルムシティ】 青森県五所川原市の新しい街並み『エルムの街』にたたずむホテルです♪ホテル内レストラン“赤～いりんご”では津軽の美味しい旬でおもてなし。津軽の《我が家》としてご利用頂けま～す＾＾V
住所：五所川原市大字唐笠柳字藤巻66-12
電話：0173-34-8910
<http://www.parkinn-elm.co.jp/>
<https://www.facebook.com/parkinn5elm>

須藤 友子

プライベートサロン R i と B i のたまご 代表（弘前市）



いつも素敵に変身するtovoが、大好きです。一般募集してみてはいかがでしょう？保育園の部、小学校の部、大人の部などに、活動を知ってもらいつつ、絵を書いてもらい、小さい子供から大人まで助け合う心で繋がったら最高です。

【プライベートサロン R i と B i のたまご】ブライダルエステ・フェイシャル肌改善プログラム・全身デトックス・スロータスマッサージ・ドクターリセラ取扱店サロン
住所：弘前市大町3-2-9 1F
ウェブサイト：<http://www.ritobinotamago.com>

西野 竜介

西洋料理 ビストロ らあくシェフ（上北郡七戸町）



tovo三周年おめでとうございます。これからのますますの発展をお祈りいたします。

【西洋料理 ビストロ らあく】
住所：上北郡七戸町字影津内34-10
電話：0176-62-6755
ウェブサイト：www.2s.biglobe.ne.jp/~yandemo/

玉田 裕美

chicori チコリマネージャー（弘前市）



祝 3周年！目つきの悪いりんごキャラはインパクト絶大で初対面から頭から離れません。色々なテイストでグッズが出来て驚き＆楽しみです。継続には自分達の生活を大切にすること、さらにマイペース＆自分達が楽しむのが一番いいと思います。楽しさが伝染してそれが誰かの幸せになれば最高ですよ☆

【chicori】私が「chicori」というさぎのぬいぐるみに出会ったのはもう二十年以上も前のこと。もうぼろぼろになってしまっただけで、まだまだ一緒にいたいお友達。一緒に時間を過ごすこと。それが人と物の絆になります。ナチュラル＆シンプルをモットーに流行や年齢を気にすることなくずっと使えるアイテムを紹介してまいります。ここにあなたの「chicori」を見つけにきてください。
住所：弘前市坂本町2番地
ウェブサイト：<http://jakeandwess.com/>

間宮 秀文

日蓮宗 法光山 実相寺 副住職（つがる市）

tovo三周年おめでとうございます！震災から年月が経つにつれて世の中が震災当時の熱い想いを冷ましていく中、小山田さんには熱い想いを保ち続けてほしいと思います。これからもtovoの輪がどんどん広がりますように、そして、たくさんの子供が笑顔になりますように。これからも頑張ってください！

【日蓮宗 法光山 実相寺】木造高校吹奏楽部さんと日蓮宗雅楽会の皆様と、つがる市実相寺本堂にて、五月中旬～下旬に、震災遺児支援チャリティーコンサートを開催しています。コンサートで笑顔になっていただき、その収益をあしなが育英会に継続的に寄付することで被災地の子供の笑顔につなげたいと思っています。是非ご来場ください。
住所：つがる市木造字千代町5-1

長谷川 正之

写真館ハセガワ（弘前市）



いつもtovoの活動を感じながら見えています。継続へのアドバイスということですが、やれる範囲、できる範囲の事を情熱を持ってやる事が大切なんだと思います。背伸びをせずにやる事、そして何よりも関わるスタッフが楽しめる内容である事が1番だと思います。これからも息の長い支援活動ができるように楽しみながら頑張ってください。

【写真館ハセガワ】
住所：弘前市東長町64 電話：0172-32-3814
ウェブサイト：<http://www.hasegawa-ps.com/>

松野 達

kotabi コタビ（青森市）



2011年3月11日、東日本大震災。衝撃的な出来事を前に、「何か出来る事」として募金やチャリティー活動等で被災された地域や人々へ日本中が支援を致しました。あれから3年が過ぎ、周りのムードは一変しているように見えます。単なるブームに終わるのではなく、継続することが大事なのだと思います。tovo様の活動をこれからも参加、応援致します。

【kotabi】 日常の中に自然にプラスできる、青森産まれの温かみのある商品を集めました。 住所：青森市新町1丁目5-6
ウェブサイト：<http://www.kotabi-thk.com/>

継続するために その⑤～先輩方に聞いてみよう

tovoはまだ3歳。今回はtovoに縁のある各界一線でご活躍する諸先輩方に「継続する為に」をテーマに、アドバイスを頂戴しよう！ということで、コメントをお願い致しました。お忙しい方ばかりですが、快く引き受けて頂き感謝しております。お1人お1人のアドバイスを読みながら胸が熱くなる思いをしています。また、いろいろなアイデアも浮かんでまいりました。頂戴致しました貴重なお言葉をしっかりと受け止め、今後の継続的な活動に生かしてまいります。ありがとうございました。

SEASON 1

- | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|--|
| <p>No.000 2012年3月号
東日本大震災より12ヶ月目発行</p>  <p>・齊藤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.001 2012年4月号
東日本大震災より13ヶ月目発行</p>  <p>・大澤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.002 2012年5月号
東日本大震災より14ヶ月目発行</p>  <p>・對馬さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.003 2012年6月号
東日本大震災より15ヶ月目発行</p>  <p>・最上さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.004 2012年7月号
東日本大震災より16ヶ月目発行</p>  <p>・工藤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.005 2012年8月号
東日本大震災より17ヶ月目発行</p>  <p>・小野寺さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.006 2012年9月号
東日本大震災より18ヶ月目発行</p>  <p>・田代さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.007 2012年10月号
東日本大震災より19ヶ月目発行</p>  <p>・米谷さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.008 2012年11月号
東日本大震災より20ヶ月目発行</p>  <p>・今さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.009 2012年12月号
東日本大震災より21ヶ月目発行</p>  <p>・木村さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.010 2013年1月号
東日本大震災より22ヶ月目発行</p>  <p>・加賀谷さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.011 2013年2月号
東日本大震災より23ヶ月目発行</p>  <p>・工藤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> |
|--|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|--|

SEASON 2

- | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|--|---|---|---|--|--|
| <p>No.012 2013年3月号
東日本大震災より24ヶ月目発行</p>  <p>・黒澤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.013 2013年4月号
東日本大震災より25ヶ月目発行</p>  <p>・加藤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.014 2013年5月号
東日本大震災より26ヶ月目発行</p>  <p>・大賀さんご一家
・インタビュー：前田 ひふと
・撮影者：前田 ひふと</p> | <p>No.015 2013年6月号
東日本大震災より27ヶ月目発行</p>  <p>・堀内さんご一家
・インタビュー：坂本 小雪
・撮影者：坂本 小雪</p> | <p>No.016 2013年7月号
東日本大震災より28ヶ月目発行</p>  <p>・白取さんご一家
・インタビュー：なるみしう
・撮影者：なるみしう</p> | <p>No.017 2013年8月号
東日本大震災より29ヶ月目発行</p>  <p>・工藤さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.018 2013年9月号
東日本大震災より30ヶ月目発行</p>  <p>・一井さんご一家
・インタビュー：坂本 小雪
・撮影者：坂本 小雪</p> | <p>No.019 2013年10月号
東日本大震災より31ヶ月目発行</p>  <p>・田中さんご一家
・インタビュー：なるみしう
・撮影者：なるみしう</p> | <p>No.020 2013年11月号
東日本大震災より32ヶ月目発行</p>  <p>・月館さんご一家
・インタビュー：前田 ひふと
・撮影者：前田 ひふと</p> | <p>No.021 2013年12月号
東日本大震災より33ヶ月目発行</p>  <p>・成田さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：小山田 和正</p> | <p>No.022 2014年1月号
東日本大震災より34ヶ月目発行</p>  <p>・北山さんご一家
・インタビュー：坂本 小雪
・撮影者：坂本 小雪</p> | <p>No.023 2014年2月号
東日本大震災より35ヶ月目発行</p>  <p>・竹森さんご一家
・インタビュー：なるみしう
・撮影者：なるみしう</p> |
|--|--|--|--|---|---|--|---|---|---|--|--|

SEASON 3

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>No.024 2014年3月号
東日本大震災より36ヶ月目発行</p>  <p>・藤田さんご一家
・インタビュー：前田 ひふと
・撮影者：前田 ひふと</p> | <p>No.025 2014年4月号
東日本大震災より37ヶ月目発行</p>  <p>・神さんご一家
・インタビュー：小山田 和正
・撮影者：工藤 文昭</p> | <p>No.026 2014年5月号
東日本大震災より38ヶ月目発行</p>  <p>・太田さんご一家
・インタビュー：坂本 小雪
・撮影者：坂本 小雪</p> | <p>No.027 2014年6月号
東日本大震災より39ヶ月目発行</p>  <p>・阿保さんご一家
・インタビュー：なるみしう
・撮影者：なるみしう</p> |
|--|--|--|--|

フリーペーパー「tovo plus」とは？

「tovo plus」は、tovoが発行するはがきサイズのフリーペーパーです。青森県内のご家族の写真を撮影し、3.11以降の生活や考えなどをインタビューしています。「忘れない」って何だろう？月に1度だけ、一緒に考えていけたらと思っています。

定期購読について

1年間(12号)の定期購読(1,500円/送料・寄付金)も承っております。
E-MAIL(info@tovo2011.com)へのご連絡にて、ぜひお申し込みください。

継続するために その⑥ ～フリーペーパーtovo plus

フリーペーパーtovo plusは、東日本大震災発生より丁度1年目、2012年3月11日にパイロット版であるNo.000を発行しました。2011年6月にtovoを立ち上げて、なんとなく軌道に乗り始めてから、僕は新しい不安と向き合うことになりました。それは僕の経験からくる「デザインはいつか飽きられる」という現実でした。いつか飽きられることは避けることができないのであれば、飽きられた時にでも生き残る何かを作り出さなければいけない。そこから生まれたのがフリーペーパーtovo plusです。震災以降、たくさんの人が「忘れない!」と口々に叫びました。僕もその1人です。でも、実際に僕の普段の怠惰な生活を考えると、昼頃には朝食に何を食べたのかさえも、すっかり忘れてしまうことが多いのです。完全に記憶にないんです。とても忘れやすい僕は、大事

なことを忘れない努力を続けなければならないと考えました。忘れない為にはどうしたらいいんだろう？いろいろ考えた末に出てきたのが、青森に住む100家族に、100ヶ月間、震災のことを聞き続けることでした。毎月、毎月、100ヶ月間も震災のことを聞き続けたい、どんなに記憶力のない僕でも忘れることはないだろうと考えました。きっと日本全国を見渡しても、こんなことしているプロジェクトはないんじゃないかな？おかげさまで、今月でパイロット版を含めて28号目。28ヶ月間、いろんなご家族に震災のことを聞き続け、僕はなんとか忘れないでいるのです。今まで登場してくれたご家族の皆さんはもちろん、手伝ってくれているスタッフの皆さんには深く感謝致します。ありがとう。

継続するために その⑦ ボランティア・協賛のみんなに聞いてみよう

前田 史子(青森市)

沿岸部の子どもたちに会いにいくようになって3年、tovo plusを手伝って1年。「そこに子どもたちがいるから」「tovoが素敵だから」というシンプルな想いで始めて、だからこそ続いているんだろう。続けるほどに「忘れないよ」「そばにいるよ」という気持ちは確かになる。tovo plusの家族探しには苦労してるけど(笑)

なるみしう(青森市)

いろんな方々の「あの日」を聞き、自分の「あの日」と重ね、いろんな方々の「その後」を聞き、自分の「その後」を省みる…。そんな経験を何度かさせていただいております。今後もこの旅は続きます。ゴールはありません。いろんな方々、自分、つまり我々の歩む旅路は、誰かの道標かもしれないからです。

坂本 小雪(弘前市)

tovoのお手伝いをしていると、いろんな人と言葉を交わせます。物販の際「他の色はありますか」「はいこちらです」それだけでも、tovoがなければその人と言葉を交わすことなんてきつくなかったのです。出会いやきっかけが増えるように、tovoについて少しでも伝えられるように、会話を大切に引き続きGOしたいと思います。

工藤 文昭(弘前市)

「ALWAYS WITH YOU」このフレーズが好きです。同じ東北に住み、しかし直接被災を経験していない私たちに、こんな関わり方もあるよと教えてくれました。これからも活動は続くでしょう。僕も一緒になって「ALWAYS WITH YOU」を叫び続けたい。

田村 美友貴(北海道札幌市)

東日本大震災を仙台で経験した私は、当時ライフラインや食料の確保もままならず、なにげない日々はとても貴重なんだと思い知らされました。このことを忘れないために、これからもtovoに関わっていきたいと思います。そして、被災した子どもたちの笑顔が増えることを心から祈っています。

蛸沢 勝寿(東北町)

2013年3月23日、BRAHMAN@青森QUARTER。私が小山田さんと出会ったのはこの日が始まりでした。あれから1年ちょっとですが、濃厚な時間を共有させて頂き感謝しています。あと7年、一步ずつゴールへ近づけるように一緒に走って行きたいと思います。

太田 春香(五所川原市)

新聞でtovoの活動を知り、約3年間お手伝いをさせて頂いています。自分の生活環境の変化で出来ることが制限されるようなこともあります。自分のペースで続けたいと思っています。子供たちが笑顔でいられる、ごく普通の日常を取り戻せることを願い微力ですが、tovo一員として10年間お手伝いさせて頂きたいです。

川畑 富美子(青森市)

あの日からどんどん遠ざかっていっても、起きてしまった沢山の変化は元に戻せないし、胸の奥の哀しみは一生消えないんだと思う。それはどんなにつらかろうに、と想像するだけで、代わってあげることができない。ただ、忘れてないよ、一緒に居たいよ、の気持ちを傍に感じてもらえるように。

新藤 幸子(十和田市)

3・11で被害に遭われた方々、それでも、それぞれの地で、がんばって生きていこうとする人たちがいて、そんな人たちを支えようとする人たちがいる。どんな苦境にあっても、人の温かい心と笑顔は、頑張るぞ!という元気。誰かを笑顔にするのは、そんな小さな一歩かもしれない。笑顔がいっぱいになりますように!

金川 卓夫(五所川原市)

tovo三周年本当にお疲れ様です。三年間ノンストップで駆け抜けてきたと思うけど、これからはバッチのデザインのペースを落とすか、他のボランティアの人にも頼めるようにして片の力を少し落として息の長いtovoになれるように願っています。

對馬 直哉(五所川原市)

非力ではありますが応援させて頂いております。あの未曾有の東日本大震災から3年が経ち人々の関心は復興や福島原発の事故処理へと向く中、tovo活動継続には大変ご苦労されていると思います。同志を募るweb、紙面(新聞・フリーペーパー)、ラジオ…。そして、なんといってもtovoグッズが今後も同志を繋ぐことと信じております。

相坂 友人(五所川原市)

私ごとですがGWの連休を使って仙台から海沿いを攻めてきました。まささらで復興と言うには程遠かったので1人でも多くの方がtovoグッズなりを身につけ被災された方々の生活に繋がればいいと思います。これからも頑張りましょう。

はまだ みほ(京都府京都市)

どんなに小さくてもその人にしか出来ない事があるはず。それはどんなに小さくても無駄じゃないはず。できる事を一人一人がすればその輪はきっと大きくなるはず。私はそう信じている。心が折れそうな時もtovoを通じてたくさんの優しい気持ちに出逢ってきたからこそ、続けられた。すべての人にありがとう。

長森 知加子(岡山県岡山市)

このリングたち…一目惚れでした。そして、気に入った物を購入することで誰かの役にたつことができる。そんな支援のシステムも大好きです♪ぜひこれからも、この魅力がいっぱいのスタイルを貫いてください☆

協賛

協賛として立ち上げ時よりご支援を頂いておりますお二方より

いつか語り合おう 僕らと君らとtovoの10年

あれから3年。その夏、青森駅の近くのイベント

ト会場で、こども達のための縁日コーナーを開

いていました。その一画にtovoのコーナー

を始めて出してみたのですが、その前で足を

止めた40代くらいの女性に声を掛けられま

した。「こんなことをしてくれてるんですね。感

激です。ありがとうございます。」と。福島から

来たというその女性は震災で親族を亡くし、

遺された子供のいる方でした。僕自身は何か

特別なことをしているという感覚はなく、たっ

たこれだけのことで「こんなにも喜んでくれる

のか」と、すっかり恐縮してしまいました。こ

の活動はあと7年続きます。震災遺児の子に

はまだ会ったことがありません。いつか何処

かで立派に成長した彼等に出会い、「君は立

派に成長したね。僕らが10年間支援したから

(笑)」「いやいや、もっと支援してくれてたら、

もっと立派になってたのに(笑)」なんて冗談

を言いながら、お互いのこの10年について

語り合うことができれば最高です。いつか、そ

んな日が来ることを願っています。

齊藤 準悦

青森こども情報誌チャベッツ編集長

こども情報誌チャベッツは、青森の子育て情報のフリーペーパーです。ご家庭によって異なる子育てがありますが、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは同じです。幼少期の様々な体験は、今後の成長に大きな影響を与えるとともに、かけがえのない親子の財産です。みなさんの子育てのヒントとなる、親子で楽しめる様々な企画や情報を提供して行きたいと考えています。子どもたちの健やかな成長と、より良い親子関係の構築を願っています。 WEBSITE: <http://chapets.com/>

あなたの左手の先にあるもの

0才だった赤ちゃんリングが2分の1成人式

を迎える10才までに私が出来ることが何だ

ろう?「あなたの左手はお父さんお母さんと

つなぐことは出来なくなってしまうけれど、

必ず誰かとつながっているよ」と伝え続けて

あげることかな。あの日あの時、「命」や「生き

ること」の意味をあれだけ考えたのに、3年

が経ち、震災前と変わらない日常に戻った今

となってはそんな事を考えたことすらも忘れ

てしまっています。何気ない平凡な毎日を過

ごせることと自分を支えてくれる周りの人へ

の「感謝の気持ち」を持ち続けることこそが、

目標とする10年の活動期間を走り続ける

パワーになるのでは、と思っています。

大澤 優子

大澤歯科医院 歯科医師

大澤歯科医院は、地域に密着して多くの患者さんとコミュニケーションを広げながら、医療に従事できるアットホームな歯科医院でありたいと思っております。患者さんの立場にたって最善な治療をご提供できるよう心掛けております。また、よく説明を行い、ご納得いただいたうえで治療をおこなっておりますので、ご安心して御来院ください。 WEBSITE:<http://osawashika.com/>

缶バッチお取り扱い店

青森市

A-Factory (青森市柳川1-4-2)
 幸せ写真スタジオクローバー (青森市浜田3-1-1 ドリームタウンAli 2F)
 大澤歯科医院 (青森市大字羽白字沢田44-8)
 肴ダイニング心 (青森市本町5-7-21 本町VILLA 1F)
 kotabi コタビ (青森市新町1丁目5-6)
 とき歯科 (青森県青森市原別5丁目9-1)
 oppen plaza sora (青森市金沢1丁目5-2)
 oppen plaza sena (青森市石江江渡52-22)
 Creative Studio D-Light (青森市橋本3-4-15-2F)
 Pommier〜ポムミエル〜 (青森市浪岡細田9-2)

弘前市

RiとBiのたまご (弘前市大町3-2-9 1F)
 弦や (弘前市銅屋町34番地)
 HOMEWORKS 4th (弘前市土手町79-1)
 chicori チコリ (弘前市坂本町2番地)

五所川原市

パークイン五所川原 (五所川原市大字唐笠柳字藤巻66-12)
 コミュニティーカフェ である・そーれ (五所川原市大町39)
 むすぶカフェ えいぶる (五所川原市金木町朝日山85-4)

黒石市

木田理容所 (黒石市内町29)
 津軽黒石 こみせ駅 (黒石市大字中町5)

十和田市

風のひろば (十和田市稲生町14-41)

上北郡七戸町

西洋料理 ビストロ らあく (上北郡七戸町字影津内34-10)

福島県

zakka market モカフルー (福島県会津若松市城西町5-9)

フリーペーパーtovo plus配布ご協力店

東京都

Only Free Paper (渋谷区宇田川町15-1 渋谷 PARCO パート1 4F)
 RE:BIRTH STUDIO (渋谷区幡ヶ谷1-1-5 第一岩田ビル B1)

宮城県

東北ろっけんパーク (仙台市青葉区中央2-5-8)

福島県

zakka market モカフルー (会津若松市城西町5-9)

青森市

アピオあおもり (青森市中央3丁目17-1)
 A-Factory (青森市柳川1-4-2)
 大澤歯科医院 (青森市大字羽白字沢田44-8)
 肴ダイニング心 (青森市本町5-7-21 本町VILLA 1F)
 kotabi コタビ (青森市新町1丁目5-6)
 Pommier〜ポムミエル〜 (青森市浪岡細田9-2)
 oppen plaza sora (青森市金沢1丁目5-2)
 oppen plaza sena (青森市石江江渡52-22)
 Creative Studio D-Light (青森市橋本3-4-15-2F)

弘前市

まちなか情報センター (弘前市大字土手町94-1)
 さいとう調剤薬局 本町店 (弘前市本町56-10)
 写真館ハセガワ (弘前市東長町64)
 弘前市役所 (弘前市上白銀町1-1)
 zilch (弘前市上瓦ヶ町11-2 SPACE・DENEGA内)
 弦や (弘前市銅屋町34番地)
 chicori チコリ (弘前市坂本町2番地)
 パンブーフォレスト (弘前市代官町20-1)

五所川原市

コミュニティカフェ である・そーれ (五所川原市大町39)
 ゴールドラッシュ (五所川原市字旭町12)
 LITA hair (五所川原市鎌谷町94-2)
 むすぶカフェ えいぶる (五所川原市金木町朝日山85-4)

黒石市

木田理容所 (黒石市内町29)
 津軽黒石 こみせ駅 (黒石市大字中町5)

十和田市

風のひろば (十和田市稲生町14-41)

上北郡七戸町

西洋料理 ビストロ らあく (七戸町字影津内34-10)

チャリティグッズの通信販売方法

さまざまなグッズを取り扱っておりますので、ウェブサイト (tovo2011.com) をぜひご覧ください。

- 1 **Twitter** (@tovo2011)、**Facebook** (tovo/トヴォ)、**メール** (info@tovo2011.com)、のいずれかの方法で下記1~5の内容をご連絡ください。

- 1: お名前 (ふりがなをお願いします)
- 2: メールアドレス
- 3: ご連絡先電話番号
- 4: 商品番号・商品名・数量
- 5: 商品配送先ご住所 (郵便番号からお願いします)



- 2 ご注文内容の確認後、商品代金と送料の合計金額・振込先をメールにてこちらからお知らせ致します。

- 3 メールに記載の口座へ振込合計金額をお支払い願います。
 ※恐れ入りますが振込手数料はお客様にご負担頂いております。

- 4 商品の到着までしばらくお待ちください。

※お問い合わせは、info@tovo2011.comまでメールをお送りください

※ご連絡頂いた個人情報は、
 グッズの配送の目的以外には使用いたしません。
 ※ご希望の商品が品切れの場合はご容赦ください。

